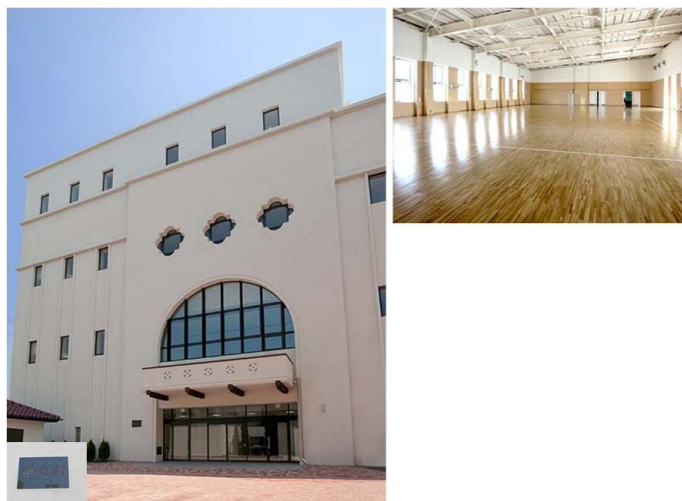


## 外観



金城学院高等学校の敷地内に完成した世光館。体育館・特別教室・調理実習室・被服室・音楽室・ランチルームなどで構成される総合教育施設。写真右は4Fの小体育館。

## 1F ランチルーム



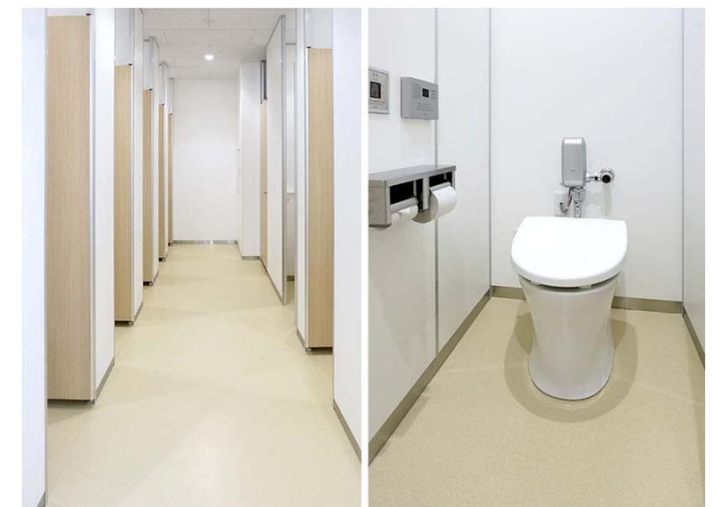
ランチルーム内の洗面コーナー。衛生性に配慮、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を設置。電気温水器を備えているため冬場はお湯で手洗いができる。

## 2F 女子トイレ 洗面コーナー



洗面カウンターにアプローチしやすいように、洗面カウンターのフロントパネルを斜めに設置。洗面コーナー横の壁に、トイレ内の緊急時対応用として呼出ボタンとインターホンを設置している。

## 2F 女子トイレ 大便器コーナー



大便器ブースの間仕切壁を天井まで立ち上げて個室感を高めている。環境に配慮して女子トイレの大便器ブースには、すべて2度流しを防止する音姫(擬音装置)を設置している。

## 1F 多目的トイレ



車いすから移乗しやすいように便器の両側に、L型手すりとはね上げ手すりを設置している。大便器にはウォシュレットを設置。

## 1F 教職員男性トイレ 洗面コーナー



ダークブラウンの木目調パネルがアクセントとなっている教職員男性トイレ。水栓金具は、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を採用。

## 2F 教職員女性トイレ



女子トイレ同様ナチュラルカラーの木目調パネルがアクセントとなった温かみのあるトイレ空間。

## 4F 大体育館 足洗い場



スポーツ後のケアのために、体育館入口付近に足洗い場を設置。シャワー金具は、シャワーヘッドの手元のボタンで吐水・止水ができる、節水性と利便性の高いクリックシャワーを採用している。

## 1F 教職員男性トイレ 大便器ブース



環境や衛生面に配慮して、節水タイプでセンサー式のパブリックコンパクト大便器を採用。すべての大便器にウォシュレットを設置している。

## 1F 教職員男性トイレ 小便器コーナー



小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減する、ハイドロセラ・フロアPUを設置。

## 建築概要

名称	金城学院高等学校 世光館(せこうかん)
所在地	名古屋市東区白壁四丁目64番地
施主	学校法人金城学院
設計	三菱地所設計
規模	地上4階建
竣工年月	(建替)2014年3月

## 水まわりの特長

**<学校の概要>**  
金城学院は1889年にアメリカの宣教師アニー・E・ランドルフが私邸を開放し創設。プロテスタントのキリスト教に基づく女性のための中等教育を目的とした、今年で創立125年を迎える伝統ある女子学院。現在は幼稚園・中学校・高等学校・大学・大学院を備える約7500名が学ぶ女子総合学園へと発展している。

**<建替えの経緯>**  
1960年に献堂された建物を、学院全体の中期キャンパス整備計画「金城学院キャンパスマスタープラン(KMP21)」の一環として建替え。大体育館・小体育館・特別教室・調理実習室・被服室・音楽室・ランチルームなど、教育環境が充実した総合的な施設が完成した。

**<トイレの特長>**  
環境や衛生面に配慮して、センサー式大便器・自動洗浄小便器・自動水栓など、節水・非接触タイプの器具を採用している。また世光館は、教室棟や職員室とは、別棟になっているため、トイレ内の緊急時に対応できるように非常呼出ボタンとインターホンを男女トイレともに設置している。